

TracePro 2023.5 プレスリリース

ラムダリサーチ株式会社は、主力製品である TracePro の最新リリースを発表いたします。今回の TracePro 2023.5 リリースでは、新機能の追加に加え、既存機能およびツールの強化・改良が多数含まれています。

TracePro Standard 版および Expert 版では、DOE（回折光学素子）のモデリングが可能になりました。DOE のモデリングには、ホログラフィック光学素子（HOE）、コンピュータ生成ホログラム（CGH）、ゼルニケ位相の 3 つの新しい表面特性タイプが利用できます。コンピュータ生成ホログラム表面は、放射対称、非対称 x-y、または非対称（絶対値）にすることができます。

TracePro の最新リリースでは、TracePro Standard および Expert に搭載されている迷光アナライザーにも多くの改良が加えられています。光学系における迷光や不要光の解析は、複数の角度や位置から複数の光源を追跡する必要があり、困難で退屈なプロセスになることがあります。Stray Light Analyzer は、これらの作業の多くを自動化し、プロセスをより直感的でユーザーフレンドリーにします。

TracePro 2023.4 には、ユーザーから報告された問題の修正も含まれています。

Acktar Advanced Coatings の黒色コーティングの最新カタログも現在入手可能です。

現在、保守およびサポート契約を結んでいる TracePro ユーザーは、新機能と改良点を利用できるように、更新された Acktar catalog と同様に、この新しいリリースの TracePro をダウンロードしてインストールすることをお勧めします。

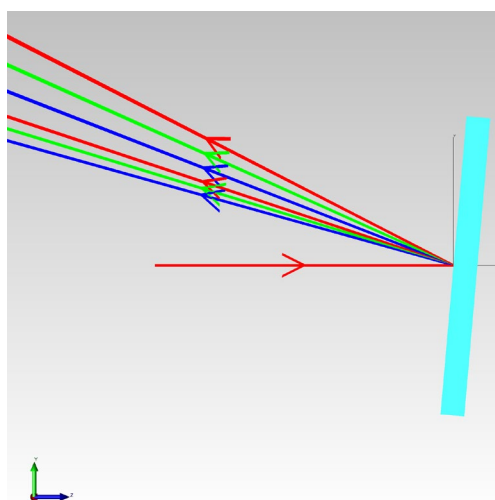


図 1：1 次と 2 次を示す HOE グレーティング

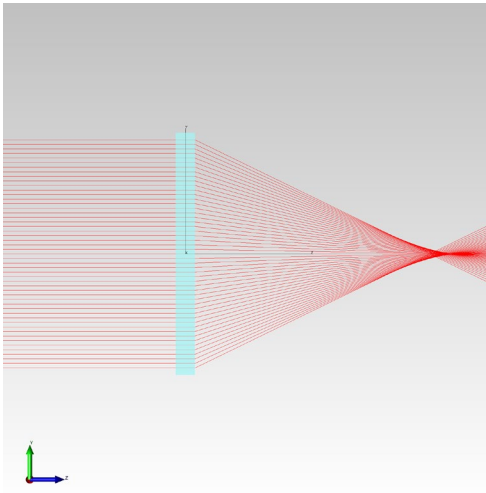


図 2 : CGH の例

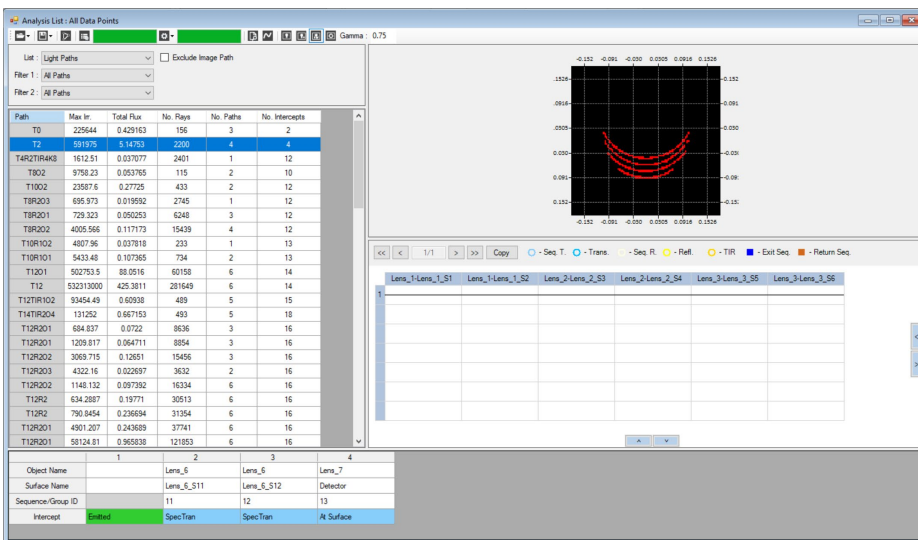


図 3 : 迷光アナライザの結果例